第４回　市政モニターアンケート
デジタルを活用した暮らしの幸福度アンケート調査
結果報告書

【アンケートの目的】
　本市では、2023 年 7 月に「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を「高島市デジタル田園都市国家構想総合戦略」に改定し、【デジタルを活用し、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる】ことを目指しております。
　これまで、転入・転出手続きのオンライン化や、住民票等証明書のコンビニ交付など行政サービスのデジタル化に取り組んでおりますが、今後の行政施策を推進するうえで、住民の皆様方の幅広いご意見をお聞かせいただくため、当該アンケートを実施しました。
【実施期間】
　令和 7 年 1 月 27 日（月）から令和 7 年 2 月 14 日（金）まで
【アンケート協力依頼者数】
　805 人（メールで依頼：504 人、文書で依頼：301 人）
【回答者数】
　490 人（ネット回答：346 人、郵送回答：144 人）
【回答率】
　60.9％
【担当課】
　政策部　総合戦略課
【Q7 自由記述欄について】
　抜粋して一部の意見を掲載しています。
　市ホームページに全ての意見を掲載してます。（誤字脱字の修正等あり）

目次

Q1. あなたの居住地を教えてください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Q2. 年齢を教えてください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Q3. 現在、あなたはどの程度幸せですか。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

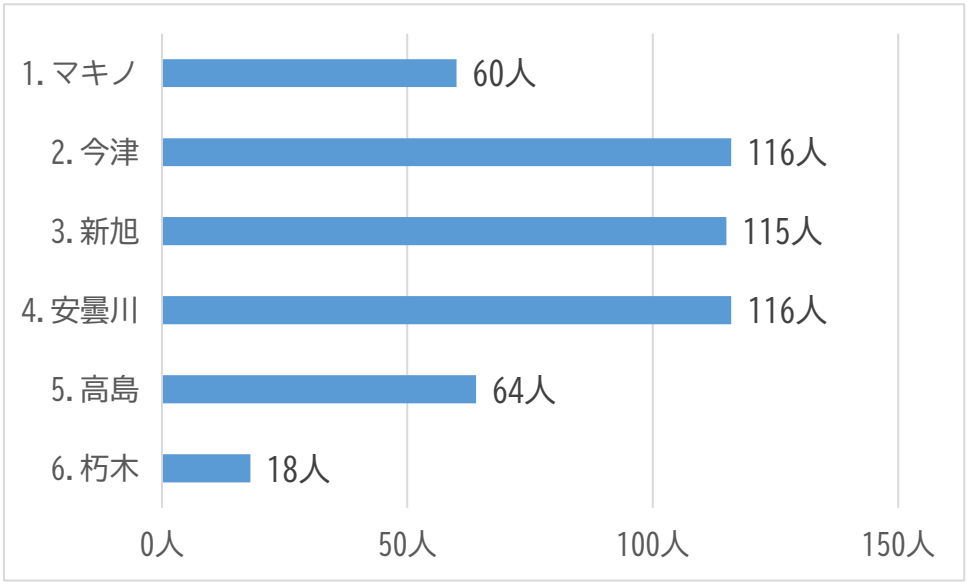
Q4. 高島市は、行政サービスのデジタル化が進んでいると思いますか。・・・・3

Q5. 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいと思いますか。・・4

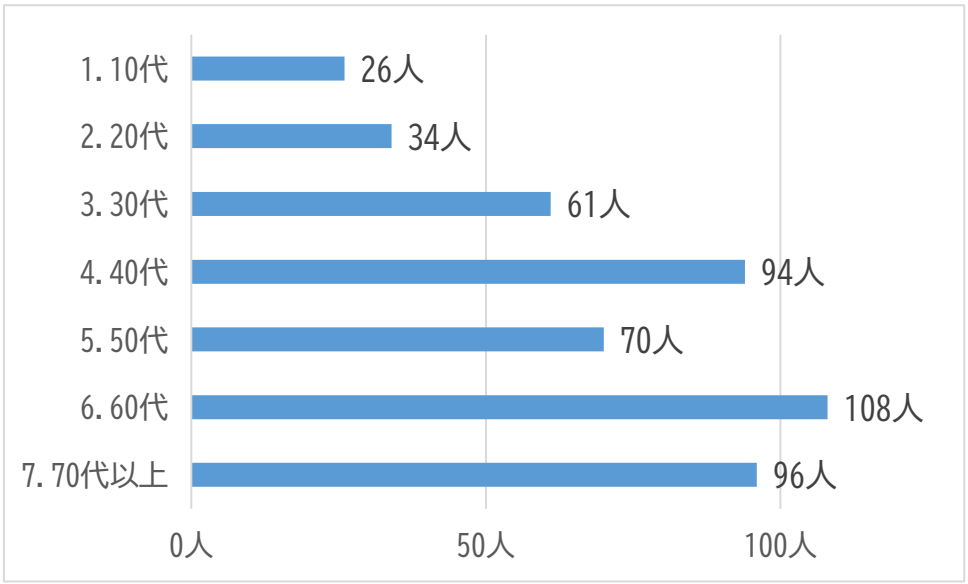
Q6. デジタルサービスによって生活が便利になっていると感じますか。・・・・5

Q7. 暮らしを豊かにする、または安心して暮らせる魅力的な地域をつくるために
必要なデジタルサービスがあれば記入ください。【任意】・・・・・・・・・・6

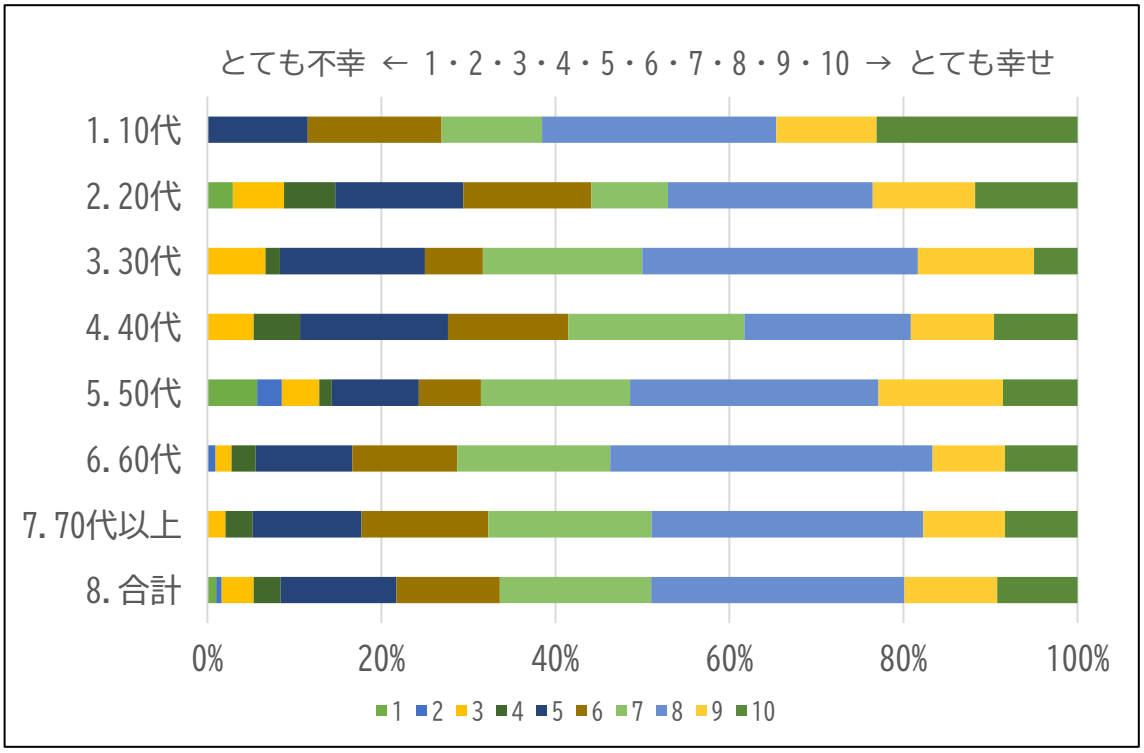
Q1. あなたの居住地を教えてください。



Q2. 年齢を教えてください。

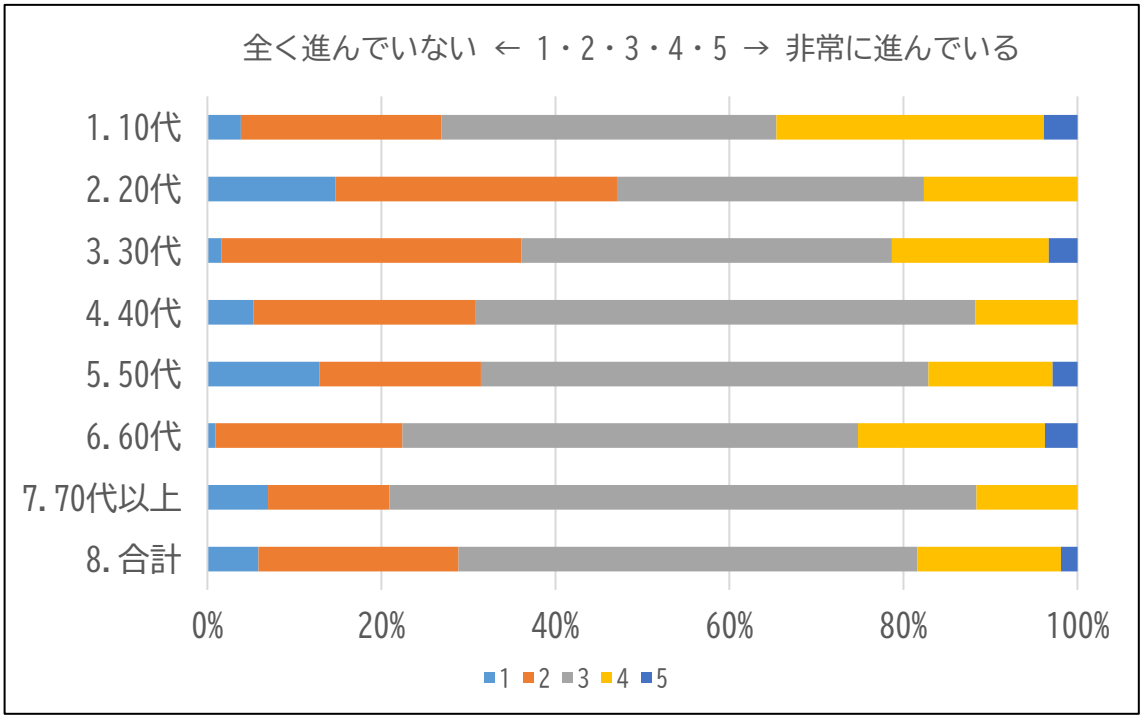


Q3. 現在、あなたはどの程度幸せですか。



	とても不幸 ←							→ とても幸せ		
年齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1. 10 代					3 11. 5%	4 15. 4%	3 11. 5%	7 26. 9%	3 11. 5%	6 23. 1%
2. 20 代	1 2. 9%		2 5. 9%	2 5. 9%	5 14. 7%	5 14. 7%	3 8. 8%	8 23. 5%	4 11. 8%	4 11. 8%
3. 30 代			4 6. 6%	1 1. 6%	10 16. 4%	4 6. 6%	11 18. 0%	19 31. 1%	8 13. 1%	3 4. 9%
4. 40 代			5 5. 3%	5 5. 3%	16 17. 0%	13 13. 8%	19 20. 2%	18 19. 1%	9 9. 6%	9 9. 6%
5. 50 代	4 5. 7%	2 2. 9%	3 4. 3%	1 1. 4%	7 10. 0%	5 7. 1%	12 17. 1%	20 28. 6%	10 14. 3%	6 8. 6%
6. 60 代		1 0. 9%	2 1. 9%	3 2. 8%	12 11. 1%	13 12. 0%	19 17. 6%	40 37. 0%	9 8. 3%	9 8. 3%
7. 70 代以上			2 2. 1%	3 3. 1%	12 12. 5%	14 14. 6%	18 18. 8%	30 31. 3%	9 9. 4%	8 8. 3%
8. 合計	5 1. 0%	3 0. 6%	18 3. 7%	15 3. 1%	65 13. 3%	58 11. 9%	85 17. 4%	142 29. 1%	52 10. 7%	45 9. 2%

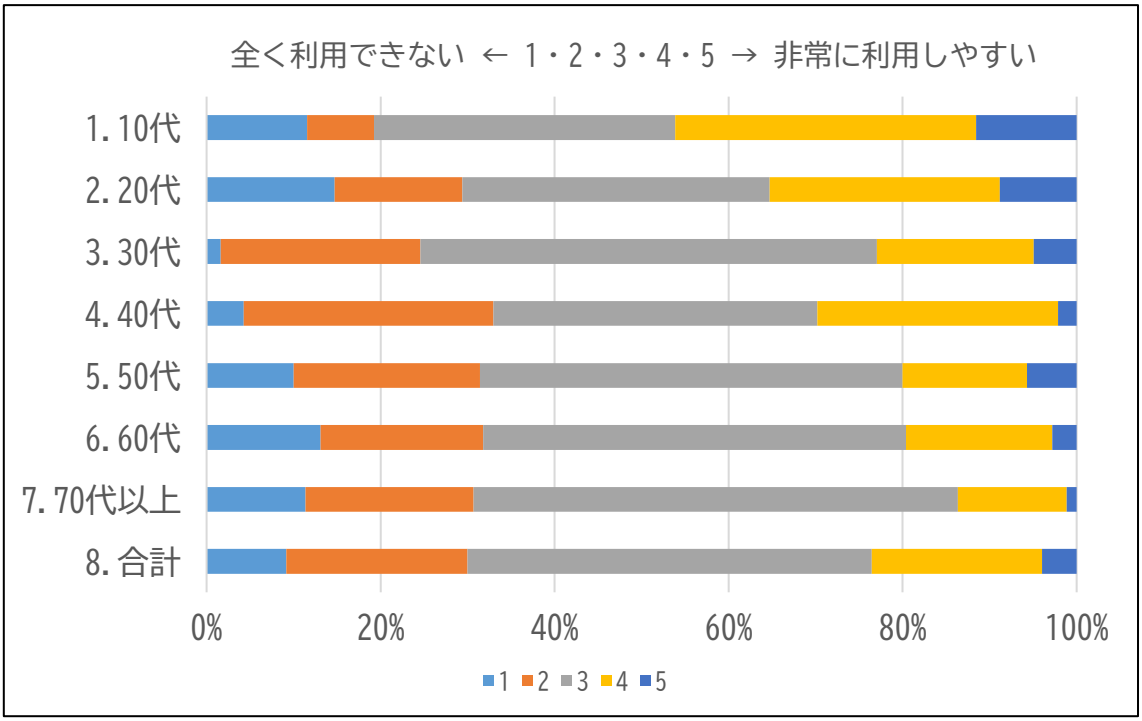
Q4. 高島市は、行政サービスのデジタル化が進んでいると思いますか。



全く進んでいない ← → 非常に進んでいる

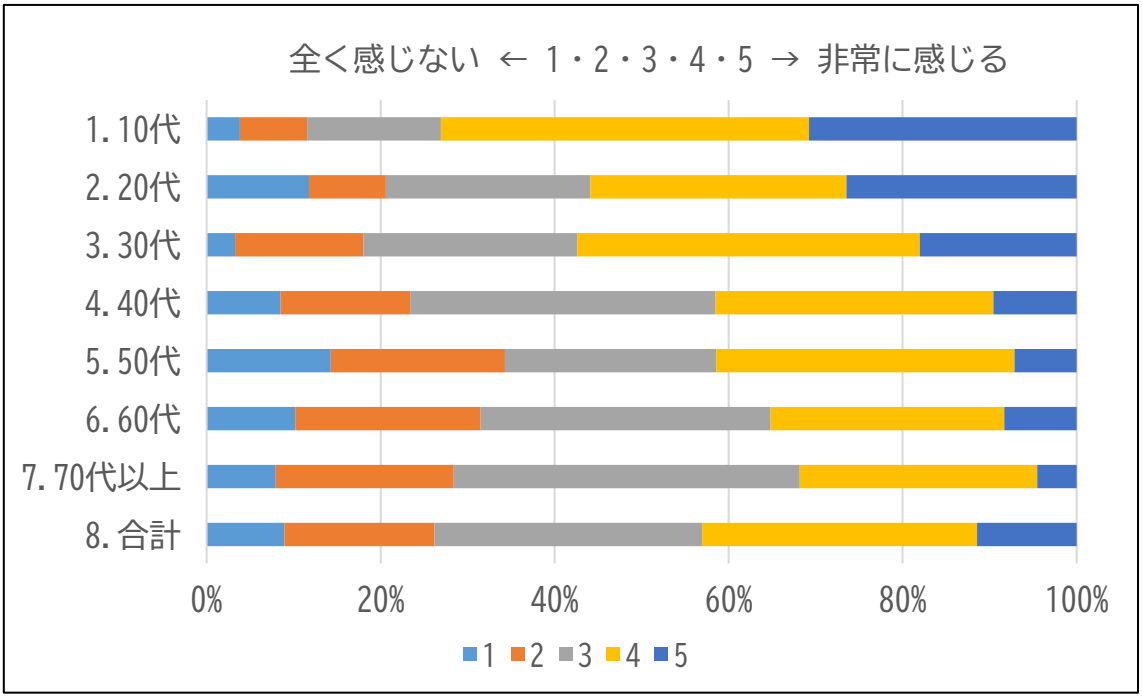
年齢	1	2	3	4	5
1. 10 代	1 (3. 8%)	6 (23. 1%)	10 (38. 5%)	8 (30. 8%)	1 (3. 8%)
2. 20 代	5 (14. 7%)	11 (32. 4%)	12 (35. 3%)	6 (17. 6%)	
3. 30 代	1 (1. 6%)	21 (34. 4%)	26 (42. 6%)	11 (18. 0%)	2 (3. 3%)
4. 40 代	5 (5. 3%)	24 (25. 5%)	54 (57. 4%)	11 (11. 7%)	
5. 50 代	9 (12. 9%)	13 (18. 6%)	36 (51. 4%)	10 (14. 3%)	2 (2. 9%)
6. 60 代	1 (0. 9%)	23 (21. 5%)	56 (52. 3%)	23 (21. 5%)	4 (3. 7%)
7. 70 代以上	6 (7. 0%)	12 (14. 0%)	58 (67. 4%)	10 (11. 6%)	
8. 合計	28 (5. 9%)	110 (23. 0%)	252 (52. 7%)	79 (16. 5%)	9 (1. 9%)

Q5. 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいと感じますか。



	全く利用できない ←				→ 非常に利用しやすい
年齢	1	2	3	4	5
1. 10 代	3 (11. 5%)	2 (7. 7%)	9 (34. 6%)	9 (34. 6%)	3 (11. 5%)
2. 20 代	5 (14. 7%)	5 (14. 7%)	12 (35. 3%)	9 (26. 5%)	3 (8. 8%)
3. 30 代	1 (1. 6%)	14 (23. 0%)	32 (52. 5%)	11 (18. 0%)	3 (4. 9%)
4. 40 代	4 (4. 3%)	27 (28. 7%)	35 (37. 2%)	26 (27. 7%)	2 (2. 1%)
5. 50 代	7 (10. 0%)	15 (21. 4%)	34 (48. 6%)	10 (14. 3%)	4 (5. 7%)
6. 60 代	14 (13. 1%)	20 (18. 7%)	52 (48. 6%)	18 (16. 8%)	3 (2. 8%)
7. 70 代以上	10 (11. 4%)	17 (19. 3%)	49 (55. 7%)	11 (12. 5%)	1 (1. 1%)
8. 合計	44 (9. 2%)	100 (20. 8%)	223 (46. 5%)	94 (19. 6%)	19 (4. 0%)

Q6. デジタルサービスによって生活が便利になっていると感じますか。



	全く感じない ←				→ 非常に感じる
年齢	1	2	3	4	5
1. 10 代	1 (8. 0%)	2 (20. 5%)	4 (39. 8%)	11 (27. 3%)	8 (4. 5%)
2. 20 代	4 (10. 2%)	3 (21. 3%)	8 (33. 3%)	10 (26. 9%)	9 (8. 3%)
3. 30 代	2 (14. 3%)	9 (20. 0%)	15 (24. 3%)	24 (34. 3%)	11 (7. 1%)
4. 40 代	8 (8. 5%)	14 (14. 9%)	33 (35. 1%)	30 (31. 9%)	9 (9. 6%)
5. 50 代	10 (3. 3%)	14 (14. 8%)	17 (24. 6%)	24 (39. 3%)	5 (18. 0%)
6. 60 代	11 (11. 8%)	23 (8. 8%)	36 (23. 5%)	29 (29. 4%)	9 (26. 5%)
7. 70 代以上	7 (3. 8%)	18 (7. 7%)	35 (15. 4%)	24 (42. 3%)	4 (30. 8%)
8. 合計	43 (8. 9%)	83 (17. 3%)	148 (30. 8%)	152 (31. 6%)	55 (11. 4%)

Q7.暮らしを豊かにする、または安心して暮らせる魅力的な地域をつくるために必要なデジタルサービスがあれば記入してください。【任意】

※いただいた回答の一部抜粋して掲載しています。全ての意見（誤字脱字修正、質問と関係のない回答を削除）を市 HP 上で公開しています。
タイトル：市政モニターアンケートの結果について（令和 6 年度）
ページ ID：11240
https://www.city.takashima.lg.jp/soshiki/seisakubu/kikakukohoka/15/2/11240.html

区分	回答内容（一部抜粋）
教育	・先生方の負担が減るのであれば、市立の園や学校の出欠連絡がアプリなどでできるようになったり、お便りや連絡事項もデジタル上で見れるようになるといい。 ・学校や園に提出する個人情報などの書類をデジタル化 ・学校の授業や保育園の発表会を家でみることができるサービス。 ・年寄向けのデジタル学習を月 2 で行い、認知症予防を図る。 ・学校からの文書をデジタル配信してほしい。
医療・健康福祉	・オンライン診療 ・病院の待ち時間が非常に長いため、ネットで予約し待ち時間短縮を図る。 ・障がい者の自立支援医療受給者証の更新変更がいつも全て手書きで病院薬局訪問看護の名称と所在地電話番号を書かないといけなくて大変なのでパソコンかタブレットで入力できるようになってほしい。 ・既にあるかどうか分からないが、認知症患者（又はそれに近い状態の高齢者）の現在位置を把握できるシステムを確立し、要望する方々に利用できるようにして欲しい。
交通	・いつでも、どこでもアプリから市内でタクシーが呼べる。 ・将来的に乗り合いタクシーをアプリで予約できるようにしてほしい。 ・高島市のコミュニティバスのデジタル予約。 ・市内の交通に関して、バスの利用者は頗る少ない現状がありますが、バスの時刻表や乗継案内、乗り合いタクシーのデジタル予約が出来ればと思います。

区分	回答内容（一部抜粋）
災害対応・防災・防犯	・雪が積もったりすると外出もできなくなり町の様子がわからなくなるので道路の状況や駅、スーパーなどの商業施設の様子を配信してもらいたい。 ・防災の観点から避難誘導、常日頃から避難場所の食料等の備蓄量、各家庭においての防災グッズの備蓄目安などをインターネットやアプリなどで各エリア事に提示および案内が発信されるとよりデジタルサービスへの親しみが増すと思います。 ・安心して暮らせるように犯罪の抑制に繋がる防犯カメラの設置や高齢者の様々な移動サービスの検討。
買い物・生活支援	・スーパー等の買い物がネットで発注し、手渡しまたは宅配できると高齢者には便利。 ・セルフレジが近年増えていますが従業員がおらず、利用ができない人もいるため、従業員の配置や有人レジでの対応など、万人が利用できるような体制がこれからも必要だと思います。 ・食料品や日用品のネットスーパーを地元の店で買えるとよい→都会のネットスーパー利用を減らす ・フードデリバリーなどあれば助かるなと思います。
行政・公共サービス	・行政サービスの内容は可能な限りホームページで公開し、原則ネット申請可とする。質疑もメールでできるように。 ・公民館の予約がデジタルで出きることは大変便利になったと思います。 ・言われるとすぐに出てこない。普段どんな行政を使ってるか思い出せるような、もう少しわかりやすい質問にしてほしいです。例えば行政のこの項目をデジタルが進んで欲しいと一覧で出てきたら答えやすい。 ・デジタル化によって人を減らせるのであれば人員を減らして、行政にかかる人件費人数を減らす必要があると思います。 ・マイナンバーカードの更新を市役所に行かずにデジタルで家から行う。 ・市民の手続き等の電子申請。